



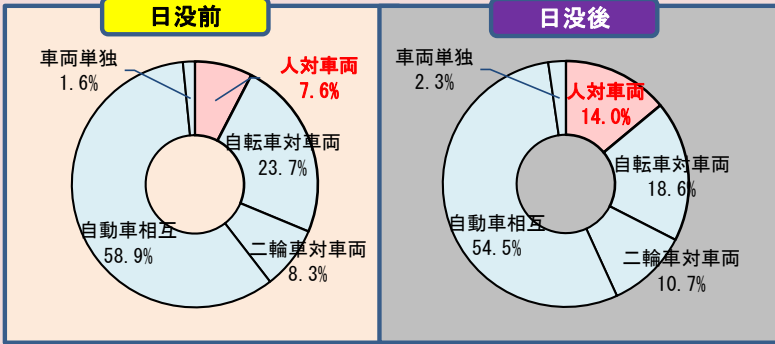
夕方の5～7(ゴーナナ)は“魔の時間”  
 ～歩行者は反射材等を着用  
 ドライバーは早めのライトオン～

# 交通事故防止のPOINT

11月号

暗い時間帯は歩行者事故が多発します！～動かそう！反射材！～

【昼夜別死傷者数(構成率)等】 ※過去5年(令和元年～令和5年)に愛知県内で発生した事故(列車事故を除く)をもとに作成



日没前: 日の出から日の入り前までをいう  
 日没後: 日の入りから日の出前までをいう

左の表をご覧ください。  
 交通事故による「人(歩行者)対車両」事故の死傷者構成率は、「日没前」よりも「日没後」が約2倍に増えることがわかります。  
 日没後は、全死者のうち歩行者が約半数(45.5%)を占めています。

※歩行者死者数(「人対車両」事故)



日没後は歩行者の姿が見えにくいことなどが原因と考えられます。  
 今回は、人の眼の特性を紹介しますので、暗い時間帯が長いこの時期の事故防止に役立てていただきたいと思います。

日本交通医学工学研究会所属 名古屋大学医学部眼科 病院助教 井岡大河先生に伺いました！

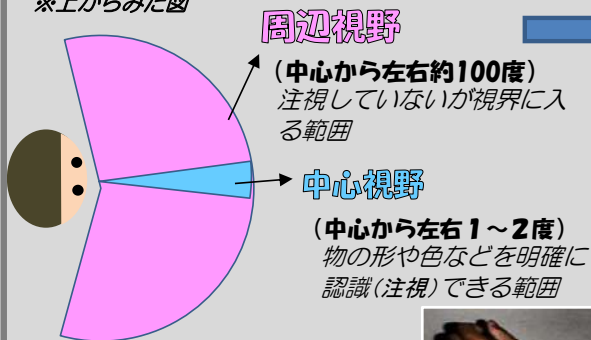
POINT 反射材・自発光式LEDバンドは、動かすことで効果が上がります！



井岡先生

人の視野は、大きく「中心視野」と「周辺視野」に分けることができます。ドライバーが左右から来る歩行者を早く発見しようとした場合、周辺視野で視界に入った歩行者を認識する必要があります。  
 周辺視野は、色の認識は乏しいですが、**明暗の変化や動くものを敏感に感じ取ります**(特に夜間)。よって、**暗い場所で有効な反射材・LEDバンド等は、大きく動く体の部位につけると、より早く発見してもらえる可能性があります。**

※上からみた図



【周辺視野】  
 明・暗  
 動くもの  
 に敏感に反応！

反射材・LEDバンドは・・・  
 リュックやカバンだけでなく、歩行中に大きく動く腕や靴の側面につけるとドライバーから認識されやすいと考えられます。また、ピカピカ点滅するものもより効果的です！

動かす！



◆11月の日没時刻は、午後4時58分(1回)から午後4時41分(30回)です。